

# (財)日本ユニセフ協会の2006年度事業報告 (2006年4月1日～2007年3月31日)

## (財)日本ユニセフ協会 2006年度の活動

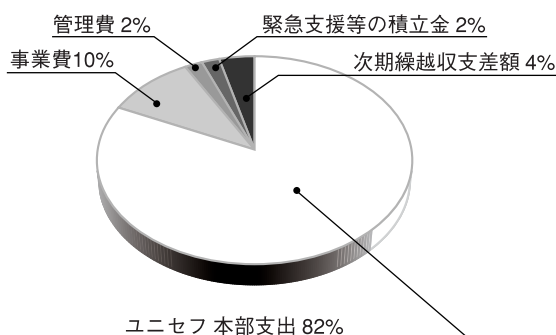
世界の先進工業37カ国には、各国においてユニセフを代表するユニセフ国内委員会があります。国内委員会は、ユニセフと「協力協定」を締結し、各国における唯一のユニセフ代理者として民間からのユニセフ募金を集めるほか、ユニセフの活動や世界の子どもたちについての広報活動、及び「子どもの権利条約」に定める「子どもの権利」の実現を目的としたアドボカシー（政策提言）活動に取り組んでいます。

財団法人日本ユニセフ協会は、日本におけるユニセフ国内委員会として、日本国内でのユニセフ募金、広報およびアドボカシー活動に取り組んでいます。募金活動では「コンビニ募金」をはじめ、新たな募金方法を導入。みなさまからの温かいご理解とご支援により、2006年度のユニセフへの拠出金は136億8,000万円となりました。みなさまからお寄せいただいた温かいご支援に、心より御礼申し上げます。

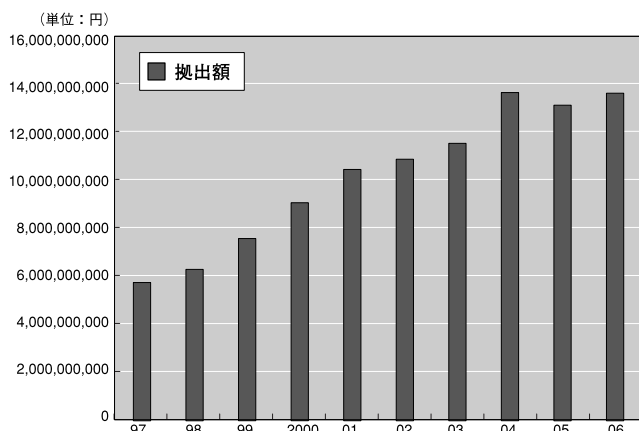
## (財)日本ユニセフ協会の2006年度収支報告 (2006年4月1日～2007年3月31日)

(単位：円)

### (財)日本ユニセフ協会の支出内訳 (2006年度)



### (財)日本ユニセフ協会の拠出額の推移



右記は、平成18年度以降移行するとされている新公益法人会計基準に対応し、監事及び公認会計士（小見山満、窪川秀一、川瀬一雄）の監査を受けた財務諸表などの一部である収支計算書の要約です。

新公益法人会計基準による財務諸表やより詳しい活動報告、募金の使われ方につきましては、ホームページをご参照ください。

(財)日本ユニセフ協会 <http://www.unicef.or.jp>

※みなさまからお預かりした募金の75%以上は日本ユニセフ協会よりユニセフに送金され、子どもたちを支援するための活動やユニセフの諸事業経費に充てられています。募金収入、及びグリーティングカード募金収入の25%の範囲内で、国内での募金活動費、啓発宣伝費、管理費等の事業経費に充てさせていただいております。当協会では、より多くの子どもたちに支援が届くよう、事業の効率的な実施とユニセフの活動へのご理解をいただくための広報活動に努めております。当協会の活動に、引き続きご理解を賜りますようお願い申し上げます。

科目	金額	
<b>I 事業活動収支の部</b>		
事業活動収入		
基本財産運用収入		785,969
会費収入		79,241,000
寄付金収入		15,645,993,334
寄付金収入	5,515,000	
募金収入	15,640,478,334	
グリーティングカード募金収入		1,146,396,496
本部補助金収入※1		1,869,619
雑収入		90,969,548
<b>事業活動収入計</b>		<b>16,965,255,966</b>
事業活動支出		
ユニセフ本部支出		14,679,337,929
ユニセフ本部拠出金※2	13,680,000,000	
ユニセフ本部業務分担金※3	999,337,929	
事業費		1,757,323,287
国際協力研修事業費※4	12,017,918	
啓発宣伝事業費※5	306,106,272	
啓発宣伝支部強化費※6	50,821,125	
募金活動事業費※7	1,182,305,225	
グリーティングカード募金事業費※8	206,072,747	
管理費※9		351,709,981
<b>事業活動支出計</b>		<b>16,788,371,197</b>
<b>事業活動収支差額</b>		<b>176,884,769</b>
<b>II 投資活動収支の部※10</b>		
投資活動収入		
特定預金取崩収入	225,802,000	
<b>投資活動収入計</b>		<b>225,802,000</b>
投資活動支出		
特定預金取得支出	335,113,386	
<b>投資活動支出計</b>		<b>335,113,386</b>
<b>投資活動収支差額</b>		<b>△109,311,386</b>
<b>III 財務活動収支の部(該当なし)※11</b>		
当期収支差額		67,573,383
前期繰越収支差額		756,835,186
次期繰越収支差額		824,408,569

※1 ユニセフ本部からの特定事業に対する補助金 ※2 ユニセフ活動資金に充当されるもの ※3 ユニセフ本部が行う特定事業に対する分担金 ※4 国際協力を携わる人材育成にかかる費用  
 ※5 「世界子供白書」「ユニセフ年次報告」等の各種広報資料の作成、シンポジウム等のアドボカシー活動費用 ※6 全国28の支部友の会による広報・啓発活動関係費  
 ※7 募金関連資料の作成と送付、告知関連費、領収書の発行・送付関係費等 ※8 ユニセフ本部が作成するグリーティングカードやユニセフグッズの頒布に関する費用 ※9 人件費や光熱水費等の事務所費  
 ※10 自然災害などユニセフ本部からの緊急支援要請に応じるための特定預金(積立金)等の積立・取崩などを指します。 ※11 借入金の受け入れ・返済を指します。当協会に該当はありません。

当協会では、2006年度も、年間を通じてさまざまなユニセフ支援活動を全国で展開してまいりました。その一部をご紹介します。

## 2006年

4月

**4月1日**  
ユニセフ・カードと  
ギフト  
2006春夏キャン  
ペーンがスタート

**4月9日**  
ユニセフ・ラブウォ  
ーク中央大会開催  
「健康の喜びを世界の  
子どもたちと分かち合  
おう」という呼びかけ  
のもと、ユニセフ・ラブ  
ウォークが全国26カ  
所で行われました。



東京・中央大会のようす  
©日本ユニセフ協会

**4月15~23日**  
ユニセフ「子どもとエイズ」  
世界キャンペーンの一環  
として、アグネス大使が  
HIV感染率世界第3位の  
国レソトを訪問。HIV/エ  
イズがもたらす現状を視  
察し、子どもたちへの支援  
を呼びかけました。



エイズで両親を失い、きょうだい  
二人で暮らす女の子  
©日本ユニセフ協会/Nozawa

5月

**5月22日~6月9日**  
春季ユニセフ・キャ  
ラン・キャンペーン  
で関東6県を訪問。

**5月23日**  
ユニセフシンポジウム「エ  
イズは、大人だけの問題じ  
ゃない」開催  
HIV/エイズが子どもに与  
える影響を考え行動を起こそ  
うと、シンポジウムを開催。  
10代の若者を中心に約  
750名が来場しました。



©日本ユニセフ協会

**5月28日**  
ジャワ島地震緊急  
募金受け付け開始  
インドネシア・ジャ  
ワ島地震で被災し  
た子どもたちのた  
めの緊急募金キャ  
ンペーンを開始。



©UNICEF/ HQ06-0619/Josh Estey

6月

**6月**  
夏のユニセフ募金キャンペーン実施

7月

**7月23日~29日**  
モンゴル・スタディツアー実施  
全国の教員の中から12名をモ  
ンゴルに派遣。学校指定募金国  
のユニセフ活動や子どもたち  
の現状を視察しました。



移動幼稚園の子どもたち  
©日本ユニセフ協会

8月

**8月1日**  
ユニセフ子どもエイズセミナ  
ー2006夏開催

**8月**  
教育現場でのユニセフ活動普  
及を目的とする「ユニセフセミ  
ナー」(教職員対象)と、中・高  
校生を対象とした「ユニセフリ  
ーダー講座」を開催。



リーダー講座には51名が参加  
©日本ユニセフ協会

9月

**9月1日**  
ユニセフ・カード  
とギフト2006秋  
冬キャンペーンが  
スタート



©日本ユニセフ協会

**9月25日**  
レバノン帰国報告会 開催  
当協会では、世界各地の子ども  
の状況とユニセフの取り組みを  
身近に感じ、知っていただく機  
会として、ユニセフ職員による  
現地報告会を開催しています。  
この他にも、ブルンジ、東ティ  
モール、タジキスタン等の報告  
会を開催しました。



レバノン帰国報告会のようす  
©日本ユニセフ協会

10月

10月

子どもの分野などで国際協力を担う人材を養成することを目的とする第6回国際協力講座(全15回)が開講。80名が参加しました。

10月10日~27日

秋季ユニセフ・キャラバン・キャンペーンで東北6県を訪問。



福島県会津若松市立謹教小学校でのキャラバン・キャンペーンのようす  
©日本ユニセフ協会

10月26日

子どもの商業的性的搾取問題のひとつ、「子どもポルノ」問題への関心を高め、官民の取り組みを支援するため、「ユニセフシンポジウム 守ろう子どもの権利 STOP!子どもポルノ~サイバースペースに潜む危険から子どもたちを守るために」を開催。

11月

10月23日、11月2日

ユニセフ相続セミナー(法律篇)開催  
世界の子どもたちに未来を託すため、ご自身が遺される財産や相続された財産からご寄付される方が増えています。当協会では、法律や税金に関する専門家を講師としてお招きし、相続セミナーを開催しました。



2007年2月には相続セミナー税金篇(写真)も開催  
©日本ユニセフ協会

12月

12月

冬のユニセフ募金キャンペーン実施

ユニセフ親善大使を務めた故オードリー・ヘップバーンさんの言葉「子どもより大切な存在ってあるかしら?」をキャッチフレーズにご支援を呼びかけ、多くの賛同をお寄せいただきました。



© UNICEF

12月23日

ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金中央大会開催

12月を中心に全国展開される募金キャンペーン「ユニセフ・ハンド・イン・ハンド」には、全国で1,611の団体・個人が参加。中央大会は東京・恵比寿ガーデンプレイスで多数の著名人を迎え開催されました。



中央大会で募金を受け取る  
2006年ミス・インターナショナルのみなさん  
©日本ユニセフ協会

2007年

1月

2月

ユニセフ・コンビニ募金受け付け開始

ホームページからのお申込み後、最寄りのコンビニエンスストアでお支払いいただけるユニセフ・コンビニ募金がスタート。

2月

3月

『世界子供白書2007』日本語版発行



©日本ユニセフ協会

3月29日

「子どもポルノサイトの根絶に向けて~スウェーデンのブロックの取り組みと日本の課題」シンポジウム

シルビア・スウェーデン国王妃陛下ご臨席のもと、子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議の第6回フォローアップ会議となるシンポジウムを開催しました。



©日本ユニセフ協会

駐日スウェーデン大使館で開かれたシンポジウムの様子

3月

募金活動

2006年度に(財)日本ユニセフ協会に寄せられた募金総額(カード&ギフト募金、緊急募金を含む)は、個人・学校・団体・企業・報道機関などのご協力により、167億8,687万円となりました。

●個人からのご協力 126億2,385万円

●学校からのご協力 4億2,371万円

●団体・企業・報道機関からのご協力 25億9,291万円

●ユニセフ・カード&ギフトを通じてのご協力 11億4,639万円

—みなさまのあたたかいお心に感謝致します。